

『海紅』（山崎聰第一句集）より

別れとは花束で消す夜の霧
村灯り墓標のうしろ霧笛溜まる
月傾ぎプールサイドに猫あつまる
母と子に柿熟れる山の祭あと
ぶな山のぶな冷え純潔に育つ雲
耳濡れており月の夜のランナーら
山ぶどう北風吹けば山のこえ
マッチ燃えあとのくらさの月の面
訣れあり満月橋にかさなりて
霧の村ゆうべむらさきの馬がおり

松村五月抄出